



沖澤のどか
指揮
京都市
交響楽団

City of Kyoto Symphony Orchestra 70th & Suntory Hall 40th Anniversary
Nodoka Okisawa Conducts City of Kyoto Symphony Orchestra



R. シュトラウス：交響詩『ドン・ファン』 作品20
Richard Strauss: *Don Juan*, Op. 20

矢代秋雄：チェロ協奏曲 (チェロ：堤剛)
Akio Yashiro: *Cello Concerto* (Tsuyoshi Tsutsumi, Cello)

R. シュトラウス：『家庭交響曲』 作品53
Richard Strauss: *Symphonia domestica*, Op. 53

2026年4月14日(火) 19:00開演 (18:20開場) サントリーホール 大ホール
Tuesday, April 14th, 2026 at 19:00 (Doors open 18:20) Suntory Hall, Main Hall

チケット料金：S席9,500円 A席8,000円 B席6,500円 C席5,000円 U25席2,000円

※U25席はサントリーホールチケットセンター(WEB・電話・窓口)のみ取り扱い。25歳以下、来場時に身分証提示要。お一人様2枚限り。

主催：京都市交響楽団／サントリーホール 後援：京都市

お問合せ：サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (10:00～18:00、休館日を除く)

※内容に変更が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。※就学前のお子様は同伴・入場いただけません。

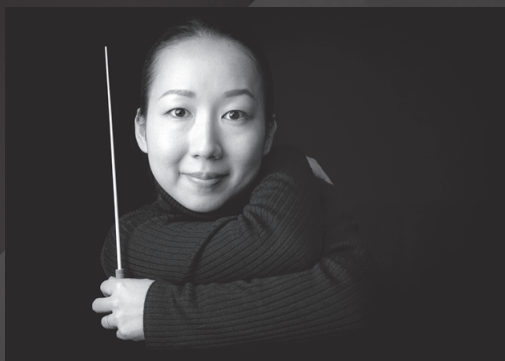
X @SuntoryHall_PR

f @suntoryhallJAPAN



公演情報はこちら

国際的に活躍の場を広げる京響常任指揮者・沖澤のどかと、サントリーホール館長であり日本を代表するチェリスト・堤剛。世代を超えて音楽の核心で響き合う二人による初めての共演が、京都市交響楽団とサントリーホールそれぞれの周年を晴れやかに飾ります。プログラムには、沖澤の真価が発揮されるR. シュトラウスの『ドン・ファン』と『家庭交響曲』を据え、緻密さとダイナミズムをあわせ持つタクトのもと、作品の世界を鮮やかに描き出します。さらに、堤剛が1960年に世界初演を務め、日本の音楽文化に一つの金字塔を打ち立てた矢代秋雄のチェロ協奏曲を、没後50年の節目にあらためて取り上げます。記念すべき二つの周年を祝う、特別なひとときをどうぞお楽しみください。



©Felix Broede

指揮：沖澤のどか（京都市交響楽団常任指揮者）
Nodoka Okisawa, Conductor
(Chief Conductor of the City of Kyoto Symphony Orchestra)

2019年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝、併せてオーケストラ賞と聴衆賞を受賞。18年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝。第28回渡邊曉雄音楽基金音楽賞、第21回齋藤秀雄メモリアル基金賞 指揮部門など受賞多数。セイジ・オザワ松本フェスティバル首席客演指揮者。ミュンヘン響 22/23シーズンのアーティスト・イン・レジデンス。「青い海と森の音楽祭」芸術総監督。20-22年ベルリン・フィル・カラヤン・アカデミー奨学生、及びK. ペトレニコのアシスタント。25/26シーズンはロンドン・フィル、ドルトムント・フィル、ボストン響ヘデビュー。日本でも読響、都響、N響などへ定期的に客演。東京二期会では20年レハール『メリー・ウィドー』、25年ビゼー『カルメン』を指揮。青森県生まれ。東京藝術大学で高関健、尾高忠明に師事して修士号を取得。19年ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンでC. エーヴァルトとH. D. パウムのもと第二の修士号を取得。ベルリン在住。23年4月から京響第14代常任指揮者に就任。



©Naruyasu Nabeshima

チェロ：堤剛
Tsuyoshi Tsutsumi, Cello

名実ともに日本を代表するチェリスト。桐朋学園で齋藤秀雄に師事。1961年インディアナ大学（アメリカ）に留学、ヤーノシュ・シュタルケルに師事。63年ミュンヘン国際コンクール第2位、カザルス国際コンクール第1位入賞。2009年秋の紫綬褒章を受章。13年文化功労者に選出。24年11月には、クラシック音楽の器楽奏者として初めて文化勲章を受章した。20年秋、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団日本公演においてソリストを務め、反響を呼んだ。インディアナ大学教授などを経て、現在、桐朋学園大学特命教授（元学長2004～13年）。霧島国際音楽祭音楽監督。サントリーホール館長。日本藝術院会員。



©井上写真事務所 井上嘉和

京都市交響楽団 City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つ。<身近な存在として、市民に愛され誇りとされる><文化芸術都市・京都の象徴となる>オーケストラを目指し、京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、ロームシアター京都でのオペラやコンサートのほか、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人達への楽器講習会等、多彩な活動を行っている。2023年、沖澤のどかが第14代常任指揮者に就任。研ぎ澄まされた感性と卓越した推進力で京響に新しい風を吹き込んでいる。24年、伝統と革新を融合した演奏スタイルを追求するヤン・ヴィレム・デ・フリーントを首席客演指揮者に迎え、一層のレパートリーの拡充と演奏の充実を図っている。26年は創立70周年を迎え、<世界に向けて最高の音楽を発信し続ける>オーケストラとしてさらなる発展を目指す。

- サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売：
2026年1月18日(日) 10時～24日(土)
※先行発売期間中は窓口での販売はございません。
- 一般発売：2026年1月25日(日) 10時～

【チケット取り扱い】

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (10:00～18:00、休館日を除く)
サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB suntoryhall.pia.jp
チケットぴあ t.pia.jp
イープラス eplus.jp
ローソンチケット l-tike.com